

メールマガジン 2022年11月

主の聖名を賛美いたします。

早いもので、いよいよアドヴェントを迎える時期となりましたが如何お過ごしでしょうか。日本で多くの方々が篤いお祈りと共に温かく見守ってくださっているからこそ、心が弱くなってもまた立ち上がることができるので、いつも感謝でいっぱいです。つい先日のことですが、皆様のお祈りによって主の御業を見せて頂くことができ、教会の方々と主を褒め称えました。

先月のメールマガジンにて、これから教会の次世代を担ってくださると期待していた若いご夫妻が、来年1月早々に本帰国されることにより、心が沈んだことをお伝えしました。しかし、帰国間際のこの時に主が奇跡を起こしてくださったのです。ご夫妻にとっても予想外のことでしたが、春からドイツで新しいお仕事を任されること決定して、本帰国はキャンセルとなりました。正に「わたしの思いは、あなたたちの思いと異なり わたしの道はあなたたちの道と異なると 主はいわれる。」(イザヤ書55章8節)との如く、主のみ旨は私たちには計り知れないことを体験させて頂き、教会の方々へ感謝の祈りをお捧げしました。ご夫妻を通して、教会の将来に一筋の希望の光を見せてくださったように思われています。

11月1日(祝日)には、3年振りにこれまでの「バザー」という名称を改めて「蚤の市」を開催することができました。大勢の助け手が与えられて、豊かな恵みの内に無事に終えることができました。これまでよりかなり縮小しましたが、例年通り売り上げの全額をボンヘッファー教会を經由して、福祉施設にお捧げすることができました。私たちは小さな群れですが、主の憐れみの中で、「受けるより与える方が幸いである」ことを体験させて頂きました。更に伝道の時としても主は用いてくださり、初めてお会いする方々とお喋りしながらコンタクトを取ることができました。ある方は早速にママの会に参加くださり、新しい輪の広がりに励まされています。しかし、このように目に見えることに一喜一憂するのではなく、主から目を離さず主の御心を求めながら、腰を据えて歩むことができる成熟した信仰者になりたいものです。

11月8日～11日まで、毎年南ドイツで行われている欧州教職者研修会に参加しました。今年は特にウクライナ在住でウクライナ人に宣教しておられる日本人牧師ご夫妻をお迎えして、戦場の様子と福音伝道のお話を伺い貴重な時となりました。この場ではお伝えしきれないので、別の機会に改めてご報告できればと思っています。戦禍の中で命をかけて教会を守り、更にウクライナ正教を国教とする場で、キリスト教を布教されている先生方の身の安全と霊肉共に強められますように、是非ともお祈りを願っています。

27日からアドヴェントに入ります。この世はクリスマスという行事の一つとして賑わっていますが、私たちは心静かにイエス様のご降誕を思い巡らして参りたいです。特に戦禍の中に置かれている人々の元に、イエス様の希望の光が差し込みますようにお祈りいたします。

※来春3月には、三年振りに宣教報告のために1ヵ月間、一時帰国の予定です。限られた時間ですが、ご挨拶にお伺いできればと願っています。よろしかったら私のメールアドレス [r310130@gmail.com](mailto:r310130@gmail.com) にご連絡いただけたら幸いです。

ホームページにはドイツの様子がわかる写真も掲載しています。過去のメールマガジンも見やすくなりましたので、是非ご覧ください。<http://www.komatsugawa-ch.com/PfarrerIn-Ryokosasaki/mailmagazine.html>

## 欧州教職者研修会

コロナ感染予防対策として窓は開けて、マスク着用

★雑貨・小物等、殆どが10€以下、古本は全て**0.5€と破格値**

★おにぎり、お稲荷さん、みたらし団子、カレーパン、カツサンド、ひじき等のお惣菜 日本食は大人気で即完売！  
他にどら焼き、クッキー等、全て手作り



ウクライナの現状をお聞きして一同が祈りを捧げました。



いつもお手伝いに来てくださる方々！  
束の間の休憩も幸せいっぱいのお顔が素敵！

